

議題	第四回運営推進会議
日時	平成 30 年 3 月 23 日 (金) 13:30～14:30
場所	デイサービス若芝 2F
出席者	(順不同敬称略) 芝本町町内会長 N 様 芝本町民生委員 M 様 地域包括支援センター三島 H 様 デイサービス若芝利用者様ご家族 T 様 K 様 デイサービス若芝センター長 渡部浩考 デイサービス若芝総括マネージャー 渡部美保子 (議事録作成者) 渡部浩考 (議事進行者) 渡部美保子
会議の詳細	
<ul style="list-style-type: none"> ● ごあいさつ (センター長 渡部浩考) ～出席者のご紹介、本会議の趣旨 (目的) について～ ● デイサービス若芝のご紹介 (センター長 渡部浩考) <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係事業所のご紹介 → デイサービス山風木のご紹介 (加屋町で近いので連携していく旨) ・ デイサービス若芝の現況報告 ・ 人材確保に関する考え方。取組について。 → 社会的課題であるが、真摯に取り組んでいく。 ● デイサービス若芝の活動 (総括マネージャー 渡部美保子) <ul style="list-style-type: none"> ・ 写真を投影しながらの活動報告 ・ 地域との関わりや連携を強く意識していることの説明 → 4 月 1 日の地域の花見に招待いただいたお礼 → 地域の若者のボランティア→就労→卒業の報告 ● H29 年度の活動について <ul style="list-style-type: none"> ・ 小規模事業所が減少(半減)している中での若芝の役割を再度確認 → 法制度が変わっていく中で、小規模はキッチリ運営しなければ退場を余儀なくされる → 皆様のご意見も踏まえながら次のステップを考えていく。 ・ 認知症ケアへの注力をより明確にすすめる ● 意見交換 民生委員 M 様： 地域の若者の就労支援をしていたようだが、これからも続けていくのか 	

センター長 渡部：

社内制度として受け容れているというよりも、相談があれば前向きに検討していく。小回りがきくのが私たちの特徴なので、選り好みせずに前向きになんでも検討していきます。尚、高校生の職業体験などは会社として受入を実施しています。若者にとっての大事な時間なので、新しい体験も含めてたくさんの可能性があることを伝えて送り出しました。

民生委員 M 様：

一度、卒業したスタッフがまた戻ってくるような流れが出来るとよいですね。

町内会長 N 様：

芝本町も高齢者の増加傾向は他の地域と変わらないだろう。直近では、組長を担当していた人が、あつという間に認知症の症状が進んでしまい生活が成り立たなくなってしまう施設入所となったケースもある。独居だったので、空き家になってしまい、空き家の危険という問題も出てくる。この流れはここ数年続いている。

センター長 渡部：

三島包括さんが来ています。芝本町に限らず、旧市内と言われる地域の状況は同じ感じなのでしょうか？

三島包括 H 様：

旧市内地域はどこも同じような傾向にある。芙蓉台のような住宅街では一斉に高齢化が始まっていて、また違った悩みも抱えているが、世代が同じなので協力しやすい雰囲気はあるかもしれない。どの地域が良いということはないのだと思いますが。

利用者様ご家族 T 様：

同じ世代の繋がり出来るかもしれないが、町(地域)としてはアンバランスになっているのは事実。残された人々みたいになってしまう。私が以前住んでいた地域は産業中心の町だったので、その傾向が強かった。三島に移ってきてまだ浅いが、三島はそこまで取り残された感じはないと思う。

三島包括 H 様：

芙蓉台など少し離れた地域では重宝されていますが、三島市は 70 歳以上の方にバスチケットを配布しています。4 月 1 日から配布が始まりますので、是非ご活用いただき外に出かけて行って欲しいと思います。

利用者様ご家族 T 様：

人が集まる事が大事です。集まって話をする事でいろいろなことが見えてくるし、自分自身への刺激にもなる。

町内会長 N 様：

自分の叔父がデイサービス若芝でお世話になっている。叔父は性格的にも人との関わりが上手なので、デイサービスに出かけても楽しくやっていると思う。自分はデイサービスの

利用は無理かなあなんて思うが、いずれにしても人と関わることが大事なのは間違いないので、そういう機会を意識的に作っていかなければならない。

デイサービス若芝 渡部：

デイサービスの利用がスムーズに出来る方と、そうでない方がいる。それはすごく自然なことなので、おかれた状況(環境)を把握しながら焦らずに進めていくしかないですね。

利用者様ご家族 K 様：

私の母もバスチケットを持っていますが、うまく活用できていないかもしれない。出かけるときにチケットの使い方が分からなくて、私が送り迎えをしてしまう。社会の仕組みとしてチケットの活用などをしっかり出来るようにしていくことも大事なかもしれない。

センター長 渡部：

4月1日には芝本町のお花見にご招待いただきまして本当にありがとうございました。とても楽しみにしています。

利用者様ご家族 K 様：

何人ぐらい集まるのですか？

町内会長 N 様：

毎年80名ぐらいです。11時～14時ぐらいの間に、みんな自由に入出入りしています。食事が出るので楽しみにしてください。

利用者様ご家族 T 様：

こういう集まりには参加した方が良いでしょう。

包括支援センター三島 H 様：

街中ほっとサロンでは新年度からオレンジサロン(認知症カフェ)の開催が月2回→月3回になります。ご活用ください。本当に様子を見るだけとかでも構いません。オープンなカフェを目指していますので、よろしく願いいたします。

センター長：

いろいろなご意見をいただきましてありがとうございました。少しずつ地域に馴染みながら地域貢献が出来るように頑張っていきます。今後ともよろしく願いいたします。

なお、次回開催予定は30年9月頃を予定しております。